

电子科技大学

2011 年攻读硕士学位研究生入学试题

考试科目：615 日语水平测试

注：所有答案必须写在答题纸上，做在试卷或草稿纸上无效。

一、次の文の下線をつけた言葉を漢字に直しなさい（1 点×10=10 点）

日本では歴史的に、長い間の封建制度の中で、①ことに徳川幕府の政治体制の②かくりつ以後、人々は身分制度という③ちつじょの中で、分をわきまえた暮らしをすることがあたかも④びとくであるかのように思い込まされてきた。江戸時代には豪商といえど、あまりに目立つ⑤はでな存在となれば、容赦なく欠所の処分などを受ける恐れもあったし、⑥だいまよう・武家も禄高によってそれ相応の暮らしぶりを考えるのが利口なやり方であった。「身分相応」「分際」「身の程をわきまえた」またその反対に「⑦みぶんふそうおう」「分をわきまえず」「身の程知らずな」といった日本語の表現はすべてこうした身分制度の感覚から生まれたものなのだ。この感覚はある場合にはたとえ自分にそれ以上の力があっても、他人の目を⑧はばかりて、つつましく見せる、あるいは反対に、それだけの実力がなくても⑨せけんていを取り繕うために、無理してはでな振る舞いをしなければならない、ということになる。そして人々はもはや、自分自身のありのままの姿というよりは、世間の目でコントロールされた自分のあり方で⑩いっしょうを送らなければならない。

二、次の文の（ ）に入れるのに最も適当なものを、①・②・③・④から一つ選びなさい。（1 点×30=30 点）

- あさってから待ち（ ）待った冬休みだ。
①は ②と ③に ④で
- 「ただで（ ）忙しい時に機械が壊れるなんて…」
①のみ ②さえ ③なら ④とも
- 私は彼にパソコンの使い方を教えているが、教えるそば（ ）忘れてしまうので、何度も同じ説明を繰り返さなければならない。
①まで ②より ③から ④だけ
- いつも親とけんかばかりして、ついには家出までする（ ）だ。
①しだい ②しまつ ③はず ④ところ
- 一度うそをついた（ ）、次々とうそをつくはめになった。
①ため ②ばかり ③ゆえ ④うえ
- こういう調子では、優勝は（ ）、決勝戦だって入れるかどうか疑問である。
①とにかく ②ともかく ③さぞ ④おろか
- 5 年（ ）学生時代の友人とばったり会った。

- ①ごとに ②ぶりに ③以来 ④以降
8. 子供は誠実（ ）の表情で、ことのいきさつを話してくれた。
①このこと ②このもの ③そのこと ④そのもの
9. 彼のお父さんは学長なんだ。低い点数でいい大学に入ったといつて不思議に思うに（ ）。
①あたらない ②相違ない ③値しない ④ほかならない
10. 私は試験中、ルールに違反して退場（ ）。
①なされた ②られた ③された ④させられた
11. 「あきらめるな！やってやれないことは（ ）！」
①ある ②ない ③やって ④やれ
12. 二人は似ても（ ）別人だ。
①似ている ②似よう ③似ない ④似つかぬ
13. 「そんなことをしても、笑われこそ（ ）ほめられはしないよ。」
①する ②すれ ③すると ④すれば
14. 最初は好奇心に（ ）競輪、競馬という賭け事をやりだしたのだが、とうとう泥沼に陥ってしまった。
①かって ②かられて ③からせられて ④からされて
15. 雨天（ ）、試合を中止します。
①に沿って ②にこたえ ③につき ④につれて
16. 両親に心配（ ）、彼は会社が倒産し、無職になったことを内緒にしていた。
①かけないで ②かけまいに ③かけまいと ④かけずに
17. こういう授業を受けた（ ）、時間の無駄遣いに過ぎない。
①ところで ②ところが ③とはいえ ④にしては
18. 親孝行（ ）事をしたこともない長男だが、母のことは気にかかっている。
①らしい ②ような ③みたいな ④などの
19. 駅の階段で、大きなスーツケースを一人で持って階段を上がれない人がいたので、見るに（ ）手助けした。
①見がたくて ②見にくくて ③見かねて ④見かねなくて
20. 彼は本当に食べるのが早い。食べ始めたか（ ）、もう何も残っていない。
①と思うと ②と思うなら ③と思うが ④と思い
21. 練習に続く練習を重ねて彼は勝つ（ ）勝ったのだ。
①ことで ②べくして ③ばかりで ④からこそ
22. 彼女の魅力は、その優しさはもちろんだが、おもしろい話し方で、一度彼女に会った人は彼女が好きに（ ）いられなかった。
② ならないには ② ならなくては
④ ならずには ④ ならないわけには
23. 彼は確信（ ）顔をして私たちに言った。
①あるらしい ②ありげな ③あろうな ④ありっぽい
24. この地方の冬は厳しく、生活も大変だが、雪国（ ）の冬の楽しみ方もある。

- ①どおり ②だけでは ③みたい ④ならでは
25. レストランで料理を食べ終わってからもしばらく話していたら、帰れと言わん（ ）にウェイトレスが食器を片付け始めた。
- ①いったの ②ばかり ③いうの ④ゆえ
26. こんなに狭い部屋をいくら丁寧に装飾しても、高が（ ）。
- ①知られている ②知らされている ③知れている ④知っている
27. ここ十年来、このあたりの環境はすっかり変わった（ ）、住民の生活水準が大幅向上したわけではない。
- ①といえど ②とはいえ ③といえ ④というより
28. 母校に帰って、上海で撮った写真をぜひ先生に（ ）たいです。
- ①ごらんになり ②お目にかかり ③お目に掛け ④拝見し
29. 普通車ではなくグリーン車ですと、ゆったり（ ）。
- ①お座りになります ②お座りになれます
③お座りくださいます ④お座りなさいます
30. 「死なば一所で死なん。」の現代語訳は（ ）だ。
- ①死にたくても同じ所で死なない。②死ぬのなら一緒に死にたくない。
③死ぬのなら同じ所で死のう。④同じ所で死ぬために一緒に死ぬ。

三、次の文の___の意味に一番近いものを①・②・③・④の中から選びなさい。(1点×10=10点)

1. 山田さんは口かずの少ない人だ。
- ①静かな ②家族が少ない ③失礼な ④おもしろい
2. 田中さんにはお手上げだ。
- ①頭が上がらない ②対処の方法がない
③何でも話せる ④がったりだ
3. 今年はまた足が出たが、来年はどうなるだろう。
- ①黒字になる ②収入になる ③お金になる ④赤字になる
4. 細かいことに心が行き届く。
- ①気が早い ②気が差す ③気が利く ④気が向く
5. 話がいささかわき道にそれてしまったが……
- ①話が主題から離れた ②話が深刻になった
③話が分からなくなった ④話がつまらなくなった。
6. こんなつまらないものを後生大事に抱え込んでいるわけはいったい何なのだろうか。
- ①大切に ②悩む ③粗末にする ④心配する
7. 端的にいえば、この作品は二流のもので、受賞作として他人を感動させる力を持っていない。
- ①簡単 ②正直 ③突然 ④極端
8. 一ヶ月のうち二回も大手術をした彼は見る影もなく痩せてしまった。
- ①見ていられない ②見ても見分けられない
③見るに堪えない ④見にくい
9. ワイシャツについた口紅から、妻に痛くもない腹を探られた。
- ①怒られた ②調べられた ③疑われた ④皮肉された

10. 福沢諭吉は二人の少女と並んで撮った写真を仲間に見せて自慢し、みんなをくやしがらせたという。

- ①みんなを騙した ②みんなを残念がらせた
③みんなを怒らせた ④みんなを裏切った

四、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(60 点)

問題 (一) (30 点)

①教養という言葉について、従来から一つの誤解が広く行われているように私には思われる。というのは、雑誌や書物、ないしは講演などで、いわゆる教養講座といわれているものを見ると、そのほとんどが、多種多様な知識の、しかもその断片の紹介に終始しているように見えているからである。そうして世間でも、いろんなことを雑然と心得ていて、どんな話題にでも口の出せる人を、教養の高い人と簡単に決めてしまっている。教養と知識とは決して同じものではないのである。というよりは『知識はそのままでは決して教養にはならないのである。いくら絵かきの名前をたくさんに知っていても、美に対する感覚がちっともみがかれていないような人は、美術の教養のある人ということができない。作家や作品に広く通じていても、人間の感情生活や人生の諸問題に粗雑な考察しかめぐらすことができないような人間には、文学は少しも教養とはなっていないのである。』

②もちろん教養には知識や学問が必要である。いかに耳の感覚の鋭敏な人でも、ベートーベンもショパンも聴いたことのないような人を音楽の教養のある人ということとはできない。教養としての知識とは、その人の人格を内部からしっかりと支えているような知識を指すのであり、知識が人格と没交渉な状態にある場合には、真の教養は決して生まれることができない。

③次に注意しておきたいことは、教養を身につけるということは、知的貴族になることでは決してないということである。例えば、美術の鑑賞眼を養うことによって、普通の人々の感じ得ない深さにまで絵画や彫刻の美しさを感じえた場合、自分は一般の人々よりは一段と高尚な人間になったような誇りを抱くことはありがちなことであるとしても、そのために教養を深めようとするのであるとすれば、その人はついに真の教養を身につけることは不可能であろう。

問Ⅰ 『』の部分には三つの文が含まれている。この三つの文は、内容のつながりのうえから、次のどれと同じか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさいよ。(1.5 点)

- ア 値段が高い。形もあまりよくない。品質は抜群なのに。
イ 風が止んだ。太陽も顔を出しはじめた。台風は去ったのだ。
ウ 彼はスポーツが得意だ。庭球の選手である。水泳もうまい。
エ 水がぬるんできた。梅が開いた。鶯も鳴き始めた。

問Ⅱ 次の一文はどの段落のあとに続けるのが最も適切か。段落の番号で答えなさい。(1.5 点)

無知無学の人を教養ある人間ということとはできないが、博識の学者にも教養のない人間は少なくないのである。

問Ⅲ 第①段落を、内容の展開の上から二つの段落に分けるとすれば、どこで分けるのが最も適切か。二つに分けた場合の後半の段落の最初の五字を抜き出して書きなさい。(2点)

問Ⅳ ——線「知識はそのままでは決して教養にはならないのである」とあるが、知識が教養になるのは、どんな場合だと、筆者は考えているのか。「知識が……場合」という形で、全体が十五字以上三十字以内(句読点を含む)になるように答えなさい。(3点)

問Ⅴ 第③段落は、第②段落とどんな関係でつながっているか。次から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア ③は、②の内容の結論を具体的に示している。
- イ ③は、②の内容の理由を例をあげて説明している。
- ウ ③は、②の内容と全く対立する新しい考えを述べている。
- エ ③は、②の内容にかかわる考えをつけ加えている。

問Ⅵ この文章の趣旨を200字程度にまとめなさい。(20点)

問題(二)(30点)

世界に数あるクリスマスツリーのうち、一番有名なのはニューヨークのロックフェラーセンターのそれだろうか。今年は高さ22メートルの木が設(しつ)えられ、恒例の点灯式を日本の新聞、テレビもこぞって報じていた。

ニュースを眺めながら、今年はニューヨークの庶民の哀歎を描いた作家O・ヘンリーが没して100年だったのを思い出した。残した短編は約280。何と言っても、①木枯らしの吹く晩秋から年の瀬の物語がひととき名高い。最も知られているだろう「最後の一葉」、クリスマスイブの「賢者の贈りもの」、路上生活者に冬が迫る「警官と賛美歌」など、繁栄からこぼれ落ちる人へのまなざしは、優しくほろ苦い。②冬の夜のともしびのような珠玉の名品たちである。結末には十八番(おはこ)のどんでん返しがある。そうした通俗性や感傷ゆえに、小説は愛されつつも、文学的にはやや軽んじられてきたと聞く。作者と作品がどこか登場人物に重なり合うのは、いわゆる権威との距離のせいでもあろう。この季節、摩天楼の街に吹く風は冷たい。ここにきて米国内の失業率はまた厳しいと伝わる。③「街角にころがっている何か」を常に探し求めたという小説家なら、この不況の時代にどんな短編をつづることだろう。〈人生は「むせび泣き」と「すすり泣き」と「ほほえみ」とで成り立っていて……〉は、「賢者の贈りもの」の知られた一節だ。すすり泣きが一番多いと作者は言うが、ここは④ほほえみに加勢したい。日本の⑤師走も冷たいけれど、津々浦々で笑みある物語が紡がればよい。

問Ⅰ ①「木枯らし」の読み方を書きなさい。(1点)

問Ⅱ ②「冬の夜のともしび」に何を例えられるのか。どういう意味なのか。
(2 点)

問Ⅲ ③「街角にころがっている何か」を常に見求めたとあるが、「街角に
ころがっている何か」は小説家にとって、何なのか。(2 点)

問Ⅳ ④ほほえみに加勢したいとはどういう意味なのか。(2 点)

問Ⅴ ⑤師走は()の別名である。(1 点)

① 一月 ② 二月 ③ 十一月 ④ 十二月

問Ⅵ この文章に題名をつけるとすれば、何がいいだろう。(2 点)

問Ⅶ この文章を中国語に訳しなさい。(20 点)

五、次の要点で作文を書きなさい。(40 点)

1. 題目：私にとっての冬の夜の灯火
2. 500 字程度
3. だ・である体を使用する